

新健康協会では、新しい健康法を伝える「健康新聞」を毎月発行し、人間のもつ治癒力や適応力をお伝えしています。肉体的、精神的なコトでお悩みの方も是非一読されてみてください。

健康新聞

発行人 新健康協会

〒813-0001
福岡市東区唐原 6-7-1
TEL:092-661-1531
https://shinkenko.jp



次の御論文は明主様が、昭和二十九年に発表されたものであります。
世界平和と心身共に健全な人間作りを目指す活動に御理解を頂ければ幸甚です。

幸運の秘訣

この事について私は以前もかいた事があるが、今日の世の中を見れば見る程不幸な人があまりに多いので、一層徹底的に書いてみるのである。いうまでもなく、昔から人間の運不運程やっかいな問題はあるまい。誰しも人心がついてから死ぬまでの間、この考えから離れられないのが人間としての必然性であろう。というのは、最も分かりたいと思う事ほど、最も分かりにくいのが世の中の常であるからで、少しでも分かったら、これほど結構な事はあるまい。ところが幸いなるかな、私はこの根本がハッキリ分かったのである。そればかりか、実地経験によっても少しの間違ひはないので、ここに確信をもって説くのである。それについては誰も知る通り、一口に運といっても、これほど茫漠たる捕まえどころないものはあるまい。しかも自分ではどうにもならないので、あなた任せより致し方がないのは勿論で、これが運というものであろう。誰かが言った「人生は大賭博なり」とは宣なるかなである。従ってどんなに偉いといわれる人でも一応は諦めてはいるが、なかなか悟りきれないもので、これが人間の宿命とでもいうのであろう。そこで、何とかして幸運をつかみたい一念から活動も出来る訳である。それがためでありもしない知恵を絞る、ほしい、なりたいたいの苦勞のしつづけで終わるのが人生というものであろう。そうして運ぐらい皮肉なものはない。つかもうとすればする程逃げてしまう。西洋の諺に「幸運のチャンスは後髪のようなもので、通る瞬間つかまないとおしまいだ」というが全くその通りである。

私の長い経験によっても、運という奴に始終からかわれているような気がする。訳なくつかめそうでなかなかつかめない。目の前にぶら下がっているから、手を出すとスルリと抜けてしまう。追いかけてようとすればする程、逃足の速い事、全く始末の悪い代物だ。ところが、私はこの運という奴を確実につかまえたのである。だがそれを説明するにあたって困る事には、信仰者ならいざ知らず、一般人にはなかなか分かりにくい点がある。というのは物を見る場合、上面だけを見て中身を見ない事で、否見えないのである。ところが運に限って、もとは中身のほうにあるのだから、これが分からなければ運は決してつかめない。という訳は、人間が肉体を動かす場合肉体自身が動くのではなく、中身にある心が動かすのであるから、幸運もそれと同様中身が肝心である。その訳を詳しく書いてみよう。

まず右の理を押し広げると、こういう事になる。すなわち上面とは現実界であり、中身とは心霊界という目に見えない空間の世界である。これがこの大世界の組織であって、造物主はそう造られたのである。故に心が肉体を動かすごとく霊界が現界を動かすのである。しかも一切は霊界が主で現界が従であるから、運といえども霊界にある霊の運が開ければいいので、そのまま体に写り幸運者となるのは勿論である。では霊界というものを一層詳しく書いてみるが、霊界は現界よりも厳正公平な階級制度になっている。それが上中下百八十の段階になっていて、六十段階ずつ三段階に分かれている。勿論、上が天国、下が地獄、中間が中有界といい現界に相応している。

こんな事をいうと、今日の人間はすぐに信じられまいが、私は神から詳しく知らされ、その上長い間霊界と現界との関係を実地経験によつて、底の底まで知り得たのであるから、寸毫の誤りはないのである。何よりもこの理を信じて実行に移し、幸運をつかんだ人は今までに数え切れない程あるばかりか、私自身としてもその一人である。それは私を客観的にみればすぐ分かる。私がいかに幸福な境遇であるかである。そこで今一歩進めて右の段階を説明してみるが、前記のごとく人間の体は現界に、霊は霊界にあるとしたら、百八十段階中のどこかにいるはずであって、つまり籍のようなものである。しかもこの籍は一定しておら

ず、絶えず上下に移動しており、運命もそれに伴う以上、人間は出来るだけ上段に昇るよう心がくべきである。いうまでもなく下は地獄界で、病氣、貧乏、争いは勿論、魍魎、百鬼夜行、暗黒無明の世界であって、あらゆる苦悩が渦巻いている。これに反し上段へ行く程反対に良くなり、天国浄土的平和光明、健富和の理想境であり、中段は中ぐらいである。

以上のごとく、霊界の籍通りが体に移り運命となるとしたら、霊の地位向上こそ幸運の根本である事があまりにも明らかである。何よりも事実を見ても分かる通り、世間よく出世をして人から羨まれるようになり、自分もいい気持ちになって、いつまでも続くと思っていると、豈計らんやいつしか失敗転落、元の本阿弥となる例もよくある。というのは、この理を知らず、人力にのみ頼りすぎるからで、しかも人を苦しめ無理をする結果、形だけは成功しても霊は地獄におちているので、霊主体従の法則によりその通りの運命となるのである。そうして霊にも物質と同様重量があり、重ければ地獄におち軽ければ天国に上がる。昔から罪の重荷というがその通りで、悪の行為は霊が曇り重くなるに反し、善の行為は軽くなり上へ昇るのである。故に人間は悪をつつしみ罪を作らないようにする事で、できるだけ善を行い霊を軽くする事こそ幸運の秘訣である。これが真理である以上、これ以外方法のない事は断言するのである。といつてもなるほど理屈は分かるが、さて実行となるとなかなか難しいものである。ところが容易にできる方法がある。これこそ信仰であるから、幸運を得たい人は何を

おいてもまず信仰に入る事である。

浄霊体験記

- 失明の恐怖から救われ 人生最高の喜び…
- ポストに健康新聞 救われた私…
- 重度の椎間板ヘルニア たった六日間で楽に…
- リウマチが治り 家事が出来るように

浄霊によって真の健康体となり、運命が向上し、幸せになられた方々の体験でございます。

失明の恐怖から救われ

人生最高の喜び…



大牟田支部
平川和子（68）

も言えない痛みと苦しみがありました。きつと仕事と勉強でかなりの目の疲労があるのだらうと思っていました。痛みは酷くなるばかりでしたので、大病院で精密検査を受けましたが、どこにも異常はなく、原因も分からない状態でした。

私は、このまま痛みが続けば失明するのでは…という大きな不安を抱え、真つ暗な長いトンネルの中に入つたようで、精神的にも不安定となり、死ぬことを考えるようになりまし

た。そのため、私は福岡での生活も希望も全部捨てて大牟田の実家に戻りました。その頃、大牟田に浄霊の支部があると母が教えてくれましたので、毎日、自転車を通いました。この目の痛みがなくなれば、もうそれだけでいい…という必死な思いでした。

浄霊を毎日受けている内に、目の奥にギクッギクッと強い衝撃が何度か起こり、「ああ、私の目が潰れる…」と心の中で叫んだこともありまし

た。しかし、浄霊を続けていくことで少しずつ目の痛みが消えていきました。私は痛みが消えていくことがとても嬉しく、入会を決めたのも、この目のことがきっかけです。目の痛みが消えていく中で、浄霊は何て素晴らしいんだろうと思つた日のことは、今でも鮮明に覚えています。

明主様に御縁をいただけたことは、私の人生の中で最高の喜びであり、入会日が私の第二の誕生日となり、新しい人生をいただきました。

まずは母を明主様に繋げて下さった御先祖様に感謝申し上げますと共に、母に、心より「ありがとう」と伝えたいです。

浄 霊

浄霊は、大自然のエネルギーであり、病氣やあらゆる問題で苦しんでいる人、悩んでいる人を救う方法です。

浄霊によって魂は清浄化され、肉体が健康になっていきます。まずは試されてみてはいかがでしょうか。

願いました。今まで、動けることが当たり前のようにしていた生活が一変し、トイレに行くのも松葉杖になりました。初めてのことであったので、使えなれなかった上に、寒い時期でしたので、夜中にトイレへ行く時は、何かしら悲しくて、自然に涙が溢れてきたことを今でも覚えています。生活が一変した心の動揺と不安が更年期障害を引き起こし、眠れない日が続きまし

た。私はどうしてこのような状態になったのだらう…と後ろ向きなことばかり考えていました。しかし、出張して下さる支部の方や会員さん方から労いや励ましをいただいて、毎日浄霊を受けていましたので、少しずつ足の痛みも和らぎまし

た。その後、徐々に歩けるようになり、車の運転も出来るようになりました。

このことがとても有難く、明主様に心より感謝申し上げます。また支部の方、会員さん方、家族の励ましと協力に今でも感謝しています。

誠に有難うございました。

（福岡県大牟田市）

ポストに健康新聞
救われた私…

芦屋支部
小松田富士雄（73）



私は、昭和五十七年の初め、三十三歳の頃から頭痛がひどくなり、歩いている時も貧血気味で眩暈がし、胸が苦しくなることが度々ありまし

た。そのため、様々な病院に行ったり、家では電気治療の機械を買ったりして治療しましたが、一向に良くなりず、その年の九月に入院しました。診察の結果、「どこにも異状がありません」とのこと

で、四十日程で退院したのですが、半月後には、体調が悪くなつたので、様々な病院を転々としまし

た。しかし、どこの病院に行つても「異状はない」との診断でした。その後も健康に良いということは色々とし

て、温泉療法等を試したこともありまし

たが、結局悪くなるばかりで良くなることはありませ

ませんでした。

病院から「異状がない」と言われても、私は苦しめてた

まらず、食欲もありませんでした。自分はこのまま死んで行かなければいけないのだらうか…

と思うと悲しくなり、夜も眠れず、ノイローゼになっていたようでした。昭和五十七年の十一月頃、ポストに一枚の健康新聞が入っていました。体験談を読み、まさかこんなことで体が楽になるのだらうか…と半信半疑でしたが、医者からは見放された状態

で、とにかくこの苦しさから逃れたい一心でしたので、芦屋支部に浄霊を受けに行くことにし

ました。最初はただ手をかざすだけで、本当に楽になるのだらうかと信じられない気持ちでしたが、「毎日受けたほうが良い」と言われ、続けていると、なんと三日間程で体が楽になったのです。徐々に食欲が始めると、夜も眠れるようになり、日増しに元気になつていきました。あの苦しかった日々が嘘のようになくなり、本当に夢のようでした。また、その間、支部の先生や会員さんが心温かく接して下さり、物が食べられるようになった時には、おにぎりをいただきました。この時の感激は今でも忘れることが出来ませ

ん。明主様の素晴らしい御力に感謝申し上げます。おかげ様で病気の苦しみから解放され、長い間欠勤していた会社にも出勤出来るようになりました。私にとつてその時の気持ちは、最高の御守護であり、有難く心に残つて忘れることが出来ませ

ん。現在では、子供や孫も浄霊を受け、家族皆、何の不安もない日々を送っています。

私のような人がこの世の中にまだ何人もいると思います。会員として、世の中の人達にお伝えして、少しでも多くの方が救われるように、健康新聞配布等で浄霊を伝えていきたいと思

っています。

明主様、誠に有難うございました。

（福岡県北九州市）

重度の椎間板ヘルニア たった六日間で楽に：

宗像支部
永島勝次（69）



私が新健康協会にご縁をいただいたのは平成二年の十二月でした。

その年の十月頃から腰の激しい痛みで毎日苦しんでいたため、病院へ行つて検査をしました。診察の結果「重度の椎間板ヘルニア」と告げられ、ベッドが空き次第入院、そして手術のスケジュールまで決まりました。

痛みによる苦しみの毎日でしたが、建設業を営んでいます関係上、休養はとれず、周囲の人の支えがないと動けないありさまでした。

そのような姿を見かねて、私の会社で働いておられた事務員さん（会員）より、浄霊の話が聞きました。が、「そんな方法で痛みが和らぐはずはない」と聞き入れませんでした。しかし、痛みは続くばかりでしたので、いろいろな人から勧めがあると、ハリでも電気治療でも整体でも、どれにでも足を運ぶ毎日でした。しかしどれも効果はありませんでした。

以前、手を骨折した際、病院で全身麻酔をしたのですが、その時の副作用による痛みの苦しみから病院嫌いとなっていた私は、毎日の痛みに勝てず、「浄霊」を体験してみることにしました。

初めて支部に足を運び、支部の先生のお話を聞き、その後、浄霊を受けました。内心は「医学の進んでいる今の世の中に、こんな方法で良くなるのだろうか」と疑問に思いましたが、とにかく、先生の言われる通り、一週間は浄霊を続けてみようと思い、支部へ通いました。

すると、日々体の変化があり、夜中に寝汗をぐっしょりかくようになったり、尿の回数や量も増えたり、下痢も出るようになりました。私は、これが先生の話された「体内の毒素を排泄する浄化作用」なのかと思うと同時に不思議さでいっぱいでした。

浄霊を受けて六日目頃になると、腰の周りが柔らかくなり、その上腰痛も和らいできました。このような変化に感動し、その後も毎日支部へ行き、長い間感じることもなかったスッキリさ、さわやかさ、そして健康感いっばいの喜びを感じながら、明主様の浄霊の偉大さに感激致しました。

その後、一日一日と腰痛も良くなり、現場にも一人で行けるようになりました。そこで出会う会社や周囲の人達の驚きは言葉では表現できない程でした。会員の方々からも「元氣になって本当に良かったですね」と心からの暖かい言葉に、私も他人のことを自分のことのように考えられる人とならねばと感じました。

その年の十二月末には入会させていただき、現在に至っています。その後もしろいろな体験がありました。

ガラスの破片が：

ある日、建設作業場を片付けていた時、厚さ五ミリのガラスを足で割ってしまいましたので、ガラスの破片が足に突き刺さりました。その時はガラスの一部が足の中に残っていたとは思いませんでした。それから二年近く経ったある朝、ガラスが刺さった部分より一センチ程離れたところが化膿していることに気づきました。早速、支部で浄霊を受けました。靴も履けない程の痛みがありました。数日で足に変化がありました。すると、あのガラスの破片が少しずつ浮き出てきたのです！私はビックリしましたが、その後も浄霊を続けると、なんとガラス片がきれいに取れたのです。これには驚きでいっぱいでした。

明主様の御教えと浄霊の素晴らしさに多くの体験をさせていただき、以前にも増して健康でいられます。また、会社の経営や安全面におきましても順調さをいただいております。これもひとえに明主様のおかげだと心より感謝申し上げます。

人は一人では生きることができません。私が所属する全ての場での人との出会い、そしてつながりで現在があると考え、それらの人々への感謝も忘れず、病気などで苦しむ人達に自分の体験を伝えお救いできるように明主様の御教えが実行できる会員にならねばと思います。

明主様、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。ありがとうございます。

（福岡県宗像市）

リウマチが治り 家事が出来るように

ネパール・キルティプール支部
オンザナ・マハルジャン（40）



私は今から十年ほど前、肩の痛みと異変を感じるようになり、家事をしている時も手首に痛みを感じ始め、徐々に関節まで痛くなっていました。心配になったので病院で診察を受けると「リウマチ」と診断されました。それから治療をはじめ、二年間薬を飲み続けましたが、関節の痛みはなかなか消えませんでした。

その様子を見た両親は、すでに新健康協会に行っていましたので、「そこで浄霊を受けてみたら？」と勧められました。痛みが少しでも良くなるのなら：と願い、支部に行きました。最初の頃は、リウマチの痛みが酷かったため、薬を服用しながら浄霊を受けていました。しかし、二カ月が過ぎた頃から徐々に薬の服用をやめることが出来る、最終的には浄霊のおかげで完全に薬をやめることが出来ました。それからは浄霊だけを受け、関節の痛みやこわばり、腫れが少しずつ良くなって

きました。それも風邪を良く引くようになってから、熱を出すようになり、その度にリウマチの症状が楽になっていくことを感じたのです。支部の先生には、熱を出すと体内の毒素を溶かし、外へ出してくれる有難いことだと教えて頂きました。

おかげ様でその後は家事も出来るようになり、普段通りの生活も出来るようになりました。

心より明主様に感謝しています。誠に有難うございました。

（ネパール・キルティプール）

浄化作用

人間には体内の毒素を排除して健康を促進しようとする働きがあります。

例えば、カゼの場合、蓄積してきた不純物や体外から入ってきた毒素を浄化するために熱や痛みが出ます。そして、その結果ハナやタンなどが出て体の中が掃除され、霊・体共に清浄化されます。

その毒素排除の過程を「浄化作用」と言います。ですから浄化作用は、体の不調和を調和させる大切な清掃作用でもあるのです。

芸術を楽しむ理由

美の殿堂へ



晴明会館（全景）

美の世界

美によって人間の情操を高め、生活を豊かにし、人生を楽しく意義あるものにするができます。

「伝承の趣」展

展示会ご案内

歴史上の出来事を物語として楽しむことは、私たちにとって大切な娯楽です。教科として「歴史」を勉強

するのは苦手でも、時代物のフィクションは好きだという人も多いのではないのでしょうか。小説、漫画、演劇、映画、ドラマなどを通してその出来事のダイナミクスを感じ取り、登場人物に共感することで、生活様式や文化、社会制度の全く異なる遠い時代のことでも、あたかも自分が経験しているかのように想像できるからです。

そうした物語の源泉にもなる「過去の今」の記録は、現代に生きる私たちに当時のことを教えてくれます。それには、まず記録がしたためられること、そしてその持ち主が代わっても大事に受け渡されてくる必要があります。そうして今に伝えられ残されていることは奇跡のようなもの。ただし記録といっても、過去そのものを真空パックしたものではありません。

りません。出来事を記述する時、すでに書き手の視点で切り取られ、理解され、整理されているという意味で、それは創作物ともいえます。

陶工の世界で襲名によって継承されてきた伝統技術についてはどうでしょうか。代々受け継がれる技術とそれによって生まれる作品は、当代のオリジナルであるとともに過去を呼び起こすような存在です。そもそも伝統を次世代につなぐということは、それまでのコピーをつくるだけでは叶いません。「現在の今」において絶えず新しいチャレンジがあつてこそです。

本展では、そうした過去と今がつながる伝承の様相をテーマとし、歴史上の出来事やお伽噺、昔話として伝わる物語を描いたもの、浮世絵や画家の経験を描いて「過去の今」を伝えてくれるもの、そして代々続く窯元の陶磁などを中心に展示します。

「あらゆる歴史は現代の歴史である」とはイタリアの歴史家ベネデット・クロッチェの言葉ですが、その言葉の通り歴史も過去も自分と切り離された無関係なものではありません。過去の一点を遠くに眺めるのではなく、今に伝えられた時間の幅を感じてもらえたらと思います。時の流れに思いを馳せつつ、今とのつながりを意識することで、より豊かな

鑑賞体験となれば幸いです。

解説 松田愛子



狩野安信 筆《源平合戦絵巻》屏風（左隻）

晴明会館

「伝承の趣」前期展

期間…6月1日(水)～12月13日(火)

※晴明会館お問い合わせ ☎(092)661-1535